科目名	西洋宗教史　　History of Western Religion						
科目担当者	中本 幹生　　NAKAMOTO Mikio						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	法学部・法律学科［専門教育科目　関連科目］ 他学部他学科履修〇					ディプロマポリシーとの関連	(1)(4)
授業の概要	西洋の文化や思想を理解する上で、キリスト教をはじめとした宗教的世界観の理解は不可欠です。この講義では、西洋古代の宗教から始め、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教といった代表的な諸宗教について、古代から中世、近世への歴史的展開に即しながら、その基本的な考え方を概観します。その時間的および地理的な連関性をも視野に納めつつ、西洋文化の基礎をなす宗教的世界観を受講者が把握できることを目指します。それにより、キリスト教をはじめとした宗教的世界観が理解できるようになります。						
授業の到達目標	①古代から近代にいたる西洋の諸宗教の内容および歴史を理解することができる。 ②西洋の様々な諸宗教の影響関係を、系統的に関連づけて理解することができる。 ③諸宗教の伝統的世界観の理解の上に立ち、西洋社会の歴史や文化、現代社会の諸問題について、長期的な視野から考え、判断できるようになる。						
授業計画・内容	1	先史・未開社会の宗教					
	2	ギリシャ・ローマの宗教					
	3	古代ヨーロッパの宗教					
	4	アメリカ大陸の古代宗教					
	5	ユダヤ教（1）：起源					
	6	ユダヤ教（2）：パレスチナにおける展開					
	7	ユダヤ教（3）：中世から近世へ					
	8	キリスト教（1）：起源					
	9	キリスト教（2）：古代教会の形成					
	10	キリスト教（3）：中世のキリスト教					
	11	キリスト教（4）：近世のキリスト教					
	12	キリスト教（5）：現代のキリスト教					
	13	イスラム教（1）：概観					
	14	イスラム教（2）：ムハンマドの教え					
	15	イスラム教（3）：中世から近世へ					
授業外学修 (事前学修)	毎回、授業範囲を予習し、専門用語の意味等をあらかじめ調べておくこと（毎週 2 時間程度）						
授業外学修 (事後学修)	毎回、授業内容について要点を整理し、不明な箇所を調べておくこと（毎週 2 時間程度）						
成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法			評価比率		到達目標との対応	
	定期試験			100%		①、②、③	
成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合						
教科書	なし						
参考文献	授業中に適宜指示する。						
その他	・西洋の文化や思想、および西洋の諸宗教に興味がある受講生を求めます。						